

まりも倶楽部のあゆみ



社会福祉法人 蓬萊会



玄関に掲げられている、一枚板の看板

社会福祉法人蓬萊会（ほうらいかい）が運営する

デイサービスセンターまりも倶楽部（くらぶ）は、

一九九八年三月二日 大村市内、七番目の通所介護

事業所として、開所から二十六年目を迎えました。

開所当時は、介護保険法が施行される前の措置制度

の時代であった為、一日の利用定員数 十五名まで、

利用料も一律一回五百円（昼食代含む）だったと

記憶しています。

社会福祉法人蓬萊会の前身は、合資会社 中島屋と

いって、明治より、大村で百十余年 呉服業を営んで

参りました。

デイサービスセンターまりも倶楽部が建っている

場所は、呉服屋の染め物工場の跡地になります。



呉服屋で使用していた柿渋塗りの反物箱

建設当時、福祉の仕事は、初めてでしたので、利用者様用の

イスひとつから、フランスベッドの鳥栖工場まで出向き、

広い倉庫の中からしっかりと選んで買い揃えたり、福岡の

医療機器メーカーで、寝たきりの方専用の特殊浴槽などを

選びに行ったりしつつ、職員研修を鈴田地区のめぐみ荘

さんにご協力を頂きながら開業準備を進めました。

また、建物にもこだわり、外観は、落ち着いた白壁の和風

造り、瓦は、島根県石見地方で生産される石州瓦を採用し

夏は、涼しく、冬は暖かい温度差の少ない建物になりました。

一九九八年三月二日、開業初日、利用者 1名に対して、

職員六名 総がかりでばたばたしながら一日を終えたのが

昨日のように思い出します。

それから、日々 利用者との向き合い、四半世紀の時を歩んできました。



玄関ロビーに飾られた映画ポスター

まわりも倶楽部の玄関をくぐり抜けると、昭和レトロな

懐かしの映画の宣伝ポスターが利用者さんをお迎えします。

チャップリンやジェームスディーン、昭和のヒーロー力道山、

月光仮面、笛吹童子に寅さん、古き良き時代を駆け抜けた

憧れの銀幕のスターに、青春時代を思い起こされる瞬間です。

このポスターは、映画館を経営されていた方から譲り

受けたもので現在では、大変貴重な物だそうです。

開設当初、高齢者福祉事業所は、山間地などに多く建っており

街中(まちなか)に建てることは、めずらしい時代でしたが、

四半世紀の時間が過ぎ、それも当たり前の時代になりました。

時間の経過とともに、世の中の生活スタイルも変化し、世情も

変化しました。



紙テープで制作した、ご利用者様の作品

このたび、地域密着型通所介護デイサービスセンターよりも倶楽部は、令和六年三月二十日をもちまして、高齢者福祉サービスの提供を終了する運びとなりました。

地域の高齢者福祉サービス事業所として、二十六年の長きにわたり、

ご愛顧賜りましたことに、心より感謝申し上げます。

明治、大正、昭和、平成、令和と多くの世代の方を集って頂いた場所と

して、感慨深いものがありますが、一区切りつけさせていただきますことを

お許しただければ幸いに存じます。

ご利用者様ならびに関係機関の皆様方におかれましては、ご迷惑をおかけ

いたしますが、ご理解のほど伏してお願ひ申し上げます。

二十六年の長きにわたり、ご支援賜りましたこと、深く感謝申し上げます。

社会福祉法人 蓬萊会 理事長 蓮本高良

令和六年 一月